

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
柔道整復実技9							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名	実務経験			
柔道整復学科・昼間部	3年	3・4期	長坂 愛	○			
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
専門分野	柔道整復実技			実技	1	20	
科目概要							
<p>柔道整復術の特徴や限界を知るために、外傷に類似した症状を示す疾患の判別や外傷に潜んでいる危険な兆候を知り、日常業務で患者を危険に陥さない能力の獲得を目指す。また、様々な医用画像機器で画像が成立する基本的な原理を知り、それぞれの画像の特性や判断における要点を学ぶ。</p>							
目標							
<p>一般目標 (GIO) 本講義を学習することで達成されるべき目標</p>	<p>臨床において外傷の対応を正しく行えるようになるために、鑑別診断、医用画像における症状と所見を判断し、最適な治療環境を選択できる能力を修得する。</p>						
<p>到達目標 (SBO) 一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療面接を通して、臨床所見から判断して施術に適する損傷と適さない損傷を的確に判断できる能力を身に付ける。 2. 医用画像の原理を理解する。 3. 危険な兆候を発見できるようにする。 4. 超音波画像診断装置を理解する。 						
解剖学、一般臨床医学、整形外科学などの知識を総合的に活用して取り組む。							
教科書・参考書							
施術の適応と医用画像の理解							
受講上の注意							
柔道整復学・理論編を修得した上で実技に入る。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合 (%)				100			100
実技試験実施要項							
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	柔道整復術の適否を考える			P.1～8	白衣・教科書		
第2回	損傷に類似した症状を示す疾患			P.9～21	白衣・教科書		
第3回	損傷に類似した症状を示す疾患			P.9～21	白衣・教科書		
第4回	血液障害を伴う損傷、脱臼骨折			P.23～26、 P.37～39	白衣・教科書		
第5回	末梢神経損傷を伴う損傷			P.27～36	白衣・教科書		
第6回	外出血を伴う損傷			P.41～48	白衣・教科書		
第7回	病的骨折および脱臼、意識障害を伴う損傷			P.49～57	白衣・教科書		
第8回	脊髄症状のある損傷			P.59～66	白衣・教科書		
第9回	呼吸障害を伴う損傷、内臓損傷の合併が疑われる損傷			P.67～77	白衣・教科書		
第10回	内臓損傷が疑われる損傷、高エネルギー外傷			P.73～81	白衣・教科書		
第11回	医用画像の理解(放射線)			P.83～108	白衣・教科書		
第12回	医用画像の理解(放射線・CT)			P.83～121	白衣・教科書		
第13回	医用画像の理解(放射線・CT・MRI)			P.83～121	白衣・教科書		
第14回	医用画像の理解(超音波)			P.121～137	白衣・教科書		
第15回	医用画像の理解(超音波)			P.121～137	白衣・教科書		
第16回	医用画像の理解(超音波)			P.121～137	白衣・教科書		
第17回	実技試験				白衣		
第18回	まとめ				白衣・教科書		
第19回							
第20回							
実務経験と本講義との関連について							
接骨院・整形外科に19年間携わった実績を踏まえ、接骨院・整形外科・トレーナーの実務者の観点から講義する。							
メールアドレス							
nagasaka-t@nihonisen.ac.jp							